



従来製品と合わせて  
アルマジロの販路拡大に  
力を入れたいという  
上村茂社長

# センター事業 活用事例

## 専門家派遣事業

### 譲渡された設備で新製品開発 小さな閃きに生き残りの可能性

#### 株式会社丸松銘木店

〒016-0844  
秋田県能代市花園町7-11  
Tel. 0185-52-5514  
Fax.0185-53-4048  
<http://www.akita-marumatu.co.jp/>  
E-mail woods-factory@akita-marumatu.co.jp

住宅の洋風化の流れで、従来型の木材関連産業は衰退する傾向にある。生き残りの突破口は、探し求めていた設備を譲渡取得できたことと、それによる従来製法の改良製品の開発だった。ヨーロッパ市場で、まずは新製品の可能性を試す。

#### 喫緊の課題だった生き残り策の模索

“木都”と呼ばれるほど木材関連事業所の多い能代市で、丸松銘木店は昭和32年創業という後発の企業。現在の上村茂社長は父親の事業を継いだ2代目だ。

製材部門を持たない丸松銘木店は、他社に賃挽きしてもらった板で化粧合板の天井板を製造していた。

「私が経営を引き継いでから13年になりますが、日本の住宅の洋風化もあって既に業界全体が右肩下がりになりつつある時代でした」(上村社長)

生き残りをかけた新規事業を模索していたところ、廃業する県外同業社が設備一式の譲渡先を探しているという話を聞き、それを譲り受けることにした。

#### 新設備導入の機会を得て新機軸製品を開発

自社に限らず能代のほとんどの木材会社は広葉樹や外材の加工に対応した設備を持っていなかったが、譲渡設備を導入すればそれらにも対応でき、事業の幅が広がる可能性があった。

新しい設備で試みたのが網代(あじろ)という従来製法の改良製品。網代は細い帯状にした板材を編み込んだ

化粧板で優雅な雰囲気を出すが、浮き上がっている部分があるため触ると欠けてしまう恐れがあり、天井板など用途が限られていた。これを、導入したホットプレス機で浮いている部分も下地に接着させることで、触っても傷まない化粧板を開発することができた。優雅な印象はそのままに、天井板のみならず壁板やテーブル天板など、応用の幅が飛躍的に広がった。

#### 海外の評価を得て販売に弾みをつけたい

丸松銘木店ではこれに「アルマジロ」という商品名をつけ、まずはヨーロッパ市場での浸透を目指している。ヨーロッパで評価されれば、そのネームバリューで国内やアジア市場でも販売に弾みがつくであろうという戦略だ。

製法自体は比較的シンプルだから、海外では模倣品がつくられる恐れもある。そのために、実用新案と商標をいち早く取得したほか、あきた企業活性化センターの専門家派遣事業を活用して、海外進出時の心がけなどの指導を受けている。

これに先駆けてこの4月には秋田空港出発ロビーの壁面装飾に採用されている。近い将来には、ヨーロッパでブレイクして、その人氣が日本に逆輸入されることになるかもしれない。



- 工場内全景。
- ホットプレス機の導入でアルマジロ以外にもOEM受注など事業の幅が広がった。
- 椅子やテーブル天板など外力のかかる場所にも使えるのがアルマジロの特長。編み方や多様な木材の使用でさまざまなデザインが可能になった。
- 最初の工程の編み込みは手作業になる。

#### 専門家派遣事業

創業や経営の向上を図ろうとする中小企業者等が抱える様々な課題に対し、当センター登録の民間専門家を派遣し、課題解決のための診断・助言を実施します。

[制度の利用・お問い合わせについて]

あきた企業活性化センター／企画・総合相談担当まで。

#### 事業の解説